

〇●〇 令和六年 年始のご挨拶

(文責) 学校長 河北光弘

新年、明けましておめでとうございます。

令和五年、私たちを勇気づけたニュースは何とんでも大谷翔平選手です。WBCで日本が三大会ぶり三度目の優勝を果たしました。大谷選手が、日本のチームの大きな柱の一つになっていたのは誰もが認めるところだと思います。彼の魅力は、野球だけでなく、人間性の素晴らしさです。彼の人間性の素晴らしさは、どのように育まれてきたのでしょうか。そこには、大谷選手に読書の大切さを説いた二人の恩師の影響があると考えられます。

一人は花巻東高校時代の佐々木監督です。佐々木監督は、野球だけではなく人間性の成長も大切という指導方針を持ち、選手に「読書を通して、野球だけに限らず、広い視野を持っていろいろな考え方を学ぶ大切さ」を指導されました。もう一人は日本ハム時代の栗山監督です。栗山監督は「野球以外の本にもヒントがたくさんある。そこから得られる感性がないと成長できない。野球の世界じゃないところから幅を広げる術を持ってこないと新しいことが見えない。人として成長できれば、野球って絶対に上手くなる」ことを指導されました。大谷選手は、二人の恩師の指導を受け、読書を習慣とし、読書から学ぶ術を身に付けられました。大谷選手の読書方法は、「心に留まった言葉をノートに書き写す、何度も繰り返し読んで様々な捉え方をする、同じテーマであっても両方の側面について書かれている本を読む」だそうです。読書から様々なことを学ぼうとする強い意志を感じます。

本校では、生徒に本を選ぶ力（選書）、本を継続して読む力（読書習慣）をつけるため、朝読書、ビブリオバトル、イメージ画、読書感想文集などの様々な読書推進活動を行っています。生徒の皆さんにも、大谷選手に学び、学び成長するために必要な読書習慣を身に付けてほしいと思います。

さて、今年も引き続き、「主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造することができる力」をつけるため「『考え、実践する』 自律（自ら考え、判断し、行動する）・尊重（お互いを唯一絶対の存在として大切にす
る）・挑戦（失敗から学び、自分の成長のために挑み続ける）」を大切にして、学校教育の更なる充実に努めてまいります。

生徒と共に先生も学び続ける学校教育を創造できるよう、保護者の皆様、地域の皆様と共に、前に進んでいきたいと思えます。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。